

2011. 10. 31

# 学生協ニュース

No.65

東 北 大 学  
(学生生活協議会広報専門委員会)

## 課外活動施設の新築整備に関する説明会が開催されました

川内北キャンパスに課外活動施設が新しく建設されることになり、その説明会が10月20日に川内北キャンパスC200教室で行われました。当日は、145学生団体の代表者や顧問教員等約200名が出席し、本学におけるこれまでの課外活動施設の整備状況や東日本大震災による課外活動への影響、新課外活動施設の概要等に関する説明が行われました。

課外活動施設の新築プランについては、説明会に先立ち、10月8日開催のホームカミングデーにおいて総長から在校生と卒業生に向けて表明がされました。

新施設は、川内北キャンパスの50mプールを取り壊した後に、地上4階建てで建設予定です。各階の構成は、1階と2階が大中小さまざまな面積を有する文化系練習室(20㎡~200㎡)、3階が体育系練習室と多目的練習室(各328㎡)、そして最上階の4階が25mの温水プールを備えるプランとなっています。今後、埋蔵文化財調査等を経て、平成25年12月末の完成を目途に工事が開始される予定です。

震災によって、本学の課外活動施設は、海岸付近の施設が津波により流失したり、大規模損壊したほか、片平地区においては体育館をはじめとして多くの施設が未だに使用できない状態が続いています。活動場所の変更を余儀なくされたサークルは、さくらホールなどの学内施設を活用したり、川内体育館をタイムシェアリングするなどして、相互に協力し合い活動しています。

新施設の整備プランは、震災による影響や長年にわたる片平地区課外活動施設の移転に関する課題が長期的視点から解決が図られることとなります。

### ◆新施設イメージ断面図◆

